

# 山口県笠戸島で採集されたタヒチ島原産 Nesiacarus 属サ サラダニの1種

誌名	Edaphologia
ISSN	03891445
著者	和田, 益夫
巻/号	37号
掲載ページ	p. 17-19
発行年月	1987年7月

〔短 報〕

山口県笠戸島で採集されたタヒチ島原産  
*Nesiacarus* 属ササラダニの1種

和田 益 夫\*

〔SHORT COMMUNICATION〕

*NESIACARUS GRANULATUS* (ACARI : ORIBATIDA),  
A NEWLY RECORDED SPECIES OF ORIBATID MITE  
FROM JAPAN

Masuo WADA\*

わが国からはツツハラダニ科 Lohmanniidae のダニは従来3属4種が知られていたが、筆者は今回第5番目の種を山口県の瀬戸内海側の下松市笠戸島で発見した。これは日本から未記録の *Nesiacarus* 属に属し、タヒチ島から記載された *Nesiacarus granulatus* という種であることが判明した。発見地にちなみ、カサドツツハラダニと名付けてここに報告する。遙か南太平洋の彼方、タヒチ島原産の種が日本の山口県で、しかも一か所に集中して生息していたことは大変興味深いことと思われる。なお、山口県のササラダニ類は鈴岡(1983)ほかにより、かなりよく調べられ100種が記録されているが、本種は未発見であった。

シマツツハラダニ属 (新称)

*Nesiacarus* CSISZÁR

カサドツツハラダニ (新称)

*Nesiacarus granulatus* HAMMER

*Nesiacarus granulatus* HAMMER 1972, p. 14, fig. 13

本ダニは体長 503~525  $\mu\text{m}$ 、体幅 230~247  $\mu\text{m}$  位の淡黄褐色の円筒形に近い形のダニで、ツツハラダニ科の他のダニと同じく前体部と後体部が同じ幅でつづき、筒状をしている。前体部の毛はみな似たように細長く刺毛を伴う。口物の先端は円頭であるが、その外縁はわずかに波打ったり、小さな凹入を示す場合もある。前体部側縁には小さいが明りょうな突出部がある。胴感毛(偽気門

\* 〒742-15 山口県熊毛郡田布施町宿井365

\* 365 Shukui, Tabuse-cho, Kumage-gun, Yamaguchi Prefecture 742-15, Japan

器官)は10本くらいの枝毛を前縁に分ち、後縁にはごく短い刺を列生し、全体として基部近くでやや後方にわん曲し先端近くでやや前方に曲がる。本種の特徴的形質として背腹とも外皮全体に顆粒構造が見られ、この顆粒の粗の部分が斑点の如く後体部背面に散在し、これらは横に列をなしているところも見られる。後体部の背毛はいずれも刺毛を持ち、背面中央の部分の毛より体側縁の部分の毛の方が長大でありやや波曲し、先は鞭状に細まる。腹側の基節板毛式は 3:1:3:4 であり、これらの毛は短い刺毛を伴う。生殖門板には、はっきりした横溝があって上下に2分される。生

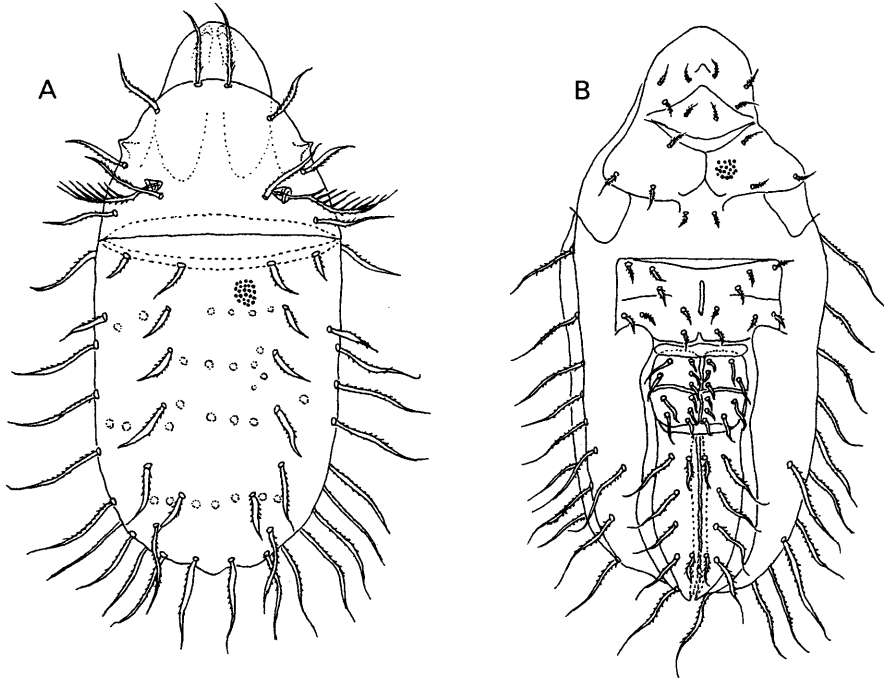


Fig. 1. *Nesiacarus granulatus* HAMMER from the Island of Kasado-jima, new to Japan.  
A: Dorsal side. B: Ventral side.

殖板毛は中央部の6対が短く、外側部の4対が長く、波曲して鞭状に細まる。そのどちらにも刺毛はなく平滑である。肛門板と肛側板は融合し、肛門板毛は2対あって短く、肛側板毛は4対あって、これらはいずれも刺毛を伴う。本種は一見してフトツハラダニ (*Mixacarus exilis* AOKI) に似ているが、生殖門板に横溝があり、後体部の背毛にははっきりした刺毛を伴うので見分けられる。また、ジャワツツハラダニ (*Lohmannia javana* BALOGH) とは生殖門板や刺毛が似ているが、こちらは体がかなり大きく(体長 942~972  $\mu\text{m}$ )、吻毛の幅が広いので区別は比較的やさしい。

〔採集地の環境〕 本種の採集地は山口県下松市笠戸島深浦にある深浦八幡宮社叢中の腐葉土層の中である。深浦は笠戸島の端に近い部落で、その海岸に接する丘の上に八幡宮がある。この社叢はツブラジイを優占種とするこの地方の典型的常緑広葉樹林で、多い樹種はツブラジイ、アラカン、タイミンタチバナ、コバンモチ、モッコクなどである。

〔採集データ〕 8個体(成虫): 山口県下松市笠戸島深浦、1986年5月12日、和田益夫採集; 32個体(成虫) 同上、1986年10月3日、和田益夫採集。これらのうち9個体は横浜国立大学環境科学センターに、残りは筆者の自宅に保管してある。

## Summary

*Nesiacarus granulatus* HAMMER, a tropical species of the family Lohmanniidae (Acari : Oribatida), was found from Kasado-jima Island in the Seto Inland Sea, Japan. The species has been known only from Tahiti, and the fact is interesting in biogeographical point of view.

## 引用文献

- HAMMER, M., 1972. Tahiti. Investigation on the oribatid fauna of Tahiti, and on some oribatids found on the Atoll Rangiroa. *Biol. Skr. Dan. Vid. Selsk.*, **19** (3): 1-66, pls. 1~26.
- 鈴岡洋志, 1983. 山口県の森林土壌から見出されたササラダニ類 (V). 山口県立山口博研報, (9): 27-44.